

---

# 風のグラスゴー 風雲編

玲於奈

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

風のグラスゴー 風雲編

### 【Nコード】

N9382Z

### 【作者名】

玲於奈

### 【あらすじ】

この小説は、前作「風のグラスゴー」の続編です。いよいよ大学生活の大海原を漕ぎ出した主人公が、外国留学に向けてもがき、そして日本を旅立ちます。先が長い話ともなりますが、どうか日々こ愛読いただき応援よろしくお願い致します。

## 第一話 新聞広告（前書き）

前作「風のグラスゴー」は、著者の処女作でもあり、日々の自転車操業での物語で、読みづらいたところなどありご迷惑をおかけしました。

しかしながらその日々の執筆の中で書きながら学んだこと、周りの皆さまから教えていただいたことがたくさんあります。主にパソコン操作面での様々な情報提供ありがとうございました。この新しい風雲編から、いよいよ外国に向けて始動します。先が長いことが予想もされますが、ご愛読どうかよろしくお願い致します。

## 第一話 新聞広告

何か新しいことをする時に

絶対反対する

あなたは違いますか？

一歩一歩 努力する人を

神様はぜっ たいに見捨てません。

自分を信じて一歩を踏みだそう。

太い白いゴシック

その後ろに細面の美女が笑っている。

前に座るサラリーマンが開く新聞の

一面広告。

それがなんだか痛烈に

自分を批判している。

そんな氣を感じる。

サラリーマン、全く動かない

どこか他の記事を読んでいるのだろう。

見た文字がフラッシュバックする。

文字が頭をまわる。

誰が訴えているのか？

頭を振って自問する。

今日は何行けるのか？

やはり陸路でなければだめか？

科学の進歩も経済活動には勝てない。

訃報の連絡があつて駆けつけた羽田

ゴールデンウィークのまつただ中

5月2日、日曜日。

混まないわけがない。

## 第一話 新聞広告（後書き）

皆さまのおかげをもちまして、新しい風雲編をスタートできたこと  
ありがとうございました。前作「風のグラスゴー」は何度も挫折し、く  
じけそうになりました。しかしながら、ここまでこれたこと本当に  
ほっとしております。

ご縁ありまして年の終わりに、そして新しい年に向けて、新編をス  
タートできたこと幸せに思います。最後になりますが、勝手ながら  
もしよろしければ前作「風のグラスゴー」も読んで頂けますと風雲  
編の助けになるのではと自負しております。よろしくご愛読くださ  
い。

福沢諭吉 5枚(前書き)

なし

福沢諭吉 5枚

私は大学で新しくできた友人たちと遊んでいた。

場所は、幕張。人はそこを夢の国とよぶ。

私たちは、人混みをものともせず

アトラクションに参加し、乗り物に乗った。

訃報が入ったのは午後2時。

母からであった。

沈黙、いや静寂が

あたりを包み

その後、すさまじい突風が私を襲った  
一瞬、何も考えることはできなかった  
まわりの色を失った

世界がモノクロになる。

そう聞く。

まさにそうであった。

そして、始終ゴーリーという

音が周りを突き抜けていつていた。

私の青ざめた顔に

友人歴2ヶ月（合宿での共同生活歴4日）の  
深谷博がすぐに反応。

事情を聞いて、すぐ5万円を貸してくれた。  
金、持つてる奴だと思っていたが、



「純、こづかいが必要な時に、必要なだけ、だから氣にするな。」

言い方がキザなのか、生まれつきなのか  
わからない。

「シラツと言うな。シラツと。じゃあな。」

私は、博を軽くパンチしてやるが、悪意はない。  
パンチは空を切る。

それこそ感謝である。

少し自分を取り戻せた。

すぐに人混みに走り出す。

200m行っただくらいで振り返る、

そして、片手で博を拝む。

残された3人は

何事もなかったかのように

すぐに人混みに消えた。

福沢諭吉 5枚（後書き）

なし

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9382z/>

---

風のグラスゴー 風雲編

2011年12月29日15時47分発行